この巻の年表

●この巻には、黒色の部分の時代・年代が、かかれています。

巻数	時代	年代
1	旧石器	前3万
		前1万
	縄文	前1000
		前300
	弥生	紀元1
		100
		200
		300
2	古墳（大和）	400
		500
	飛鳥	600
		700
3	奈良	
4	平安	800
		900
5		1000
		1100
6		
7	鎌倉	1200
		1300
8	南北朝	
		1400
9	室町	
10	戦国	1500
11	安土桃山	1600
12	江戸	
13		1700
14		
15		1800
16		
17		
18	明治	1900
19	大正	
20	昭和	

代

一一四二　源為義が藤原頼長につかえる。
このころ、延暦寺や興福寺が武力をもち乱暴する。

一一五〇　頼長と兄忠通との対立がはげしくなる。

一一五四　源為朝が九州で乱暴をして、為義は検非違使をやめさせられる。

一一五五　鳥羽法皇と崇徳上皇の対立がはげしくなる。

一一五六　**保元の乱**がおこる。
崇徳上皇が讃岐国へながされ、頼長は戦死、為義は刑死する。

一一五八　信西・平清盛と、藤原信頼・源義朝との対立がおこる。

一一五九　**平治の乱**がおこる。
源義朝がころされ、頼朝は伊豆にながされる。

一一六〇　**平氏がさかえる。**

時

一一六四　清盛らが、写経を厳島神社におさめる。（平家納経）

一一六七　**清盛が太政大臣となる**が、三か月後、辞任する。

一一六八　平滋子のうんだ皇子が高倉天皇となる。

一一七〇　藤原秀衡が鎮守府将軍となる。

一一七一　清盛のむすめ徳子が高倉天皇の女御となる。

一一七三　清盛が大輪田泊を修築し、**日宋貿易を発展させる。**

一一七七　鹿ヶ谷事件がおこる。
清盛が後白河法皇を鳥羽殿におしこめる。

一一七九　徳子のうんだ皇子が安徳天皇となる。

一一八〇　源頼政が以仁王の令旨をうけ、挙兵する。
清盛が一時、都を福原にうつす。
頼朝、挙兵するが、石橋山でやぶれる。
頼朝、鎌倉を根拠地とし、富士川で平氏をやぶる。
木曽の源義仲をはじめ、各地の武士が挙兵する。

一一八一　**清盛が熱病のために死ぬ。**

一一八三　平氏が西国にのがれ、義仲の軍が京都に入る。
頼朝が法皇と手をむすぶ。

一一八四　法皇の命で源義経らが義仲をうつ。
一ノ谷の合戦で平氏がやぶれる。

一一八五　屋島につづき、**壇ノ浦でやぶれ、平氏が滅亡する。**

国風文化

●世界のおもなできごと

一一四二　金が南宋と講和し、中国は二つに分かれる。

●このころ、カンボジアにアンコール＝ワットが建設される。

一一四七　第二回十字軍（～四九）

一一五七　セルジューク＝トルコがおとろえる。

一一七〇　高麗が内乱でおとろえる。

一一七一　サラディン王がエジプトを支配する。

●このころ、朱子学がおこる。

一一八三　ロンバルディア同盟が自治都市の権利を手に入れる。

地図でしらべよう

源平の合戦地

一一八〇年、源頼朝が伊豆で挙兵してから、壇ノ浦の合戦で平氏が滅亡するまでの5年間、源平の合戦が各地でたたかわれました。そのおもな合戦地を追ってみましょう。

凡例

すすんだ道すじ
- 木曽義仲
- 源義経
- 源範頼
- 源頼朝

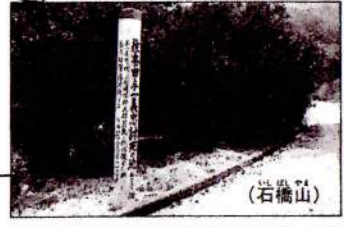
1183年の勢力分布
- 平氏
- 木曽義仲
- 源頼朝

（ ）内は、本文のページをしめす。

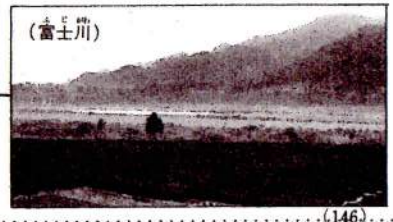
✕ おもな古戦場

ここで頼朝をころすべきだった。

▼石橋山の合戦　1180年8月。源頼朝は大庭景親軍にやぶれ、安房にのがれる。（➡82ページ）


（石橋山）

源頼朝の挙兵地　1180年8月。北条時政らと兵をあげ、山木兼隆をうつ。（➡80ページ）


（富士川）

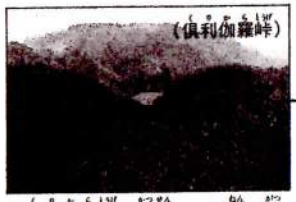
▶富士川の合戦　1180年10月。平維盛のひきいる平氏軍が、水鳥の羽音を敵の大軍とまちがえて、たたかわずににげる。（➡88ページ）

▲赤間神宮にある平氏一門の墓

（壇ノ浦古戦場跡）

◀壇ノ浦の合戦　1185年3月。平氏軍は、義経のひきいる源氏軍にやぶれ、滅亡する。平氏一門とともに安徳天皇も入水する。（➡125－130ページ）

▶木曽義仲の挙兵地　1180年9月。以仁王の令旨をうけ、兵をあげる。

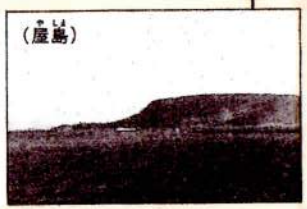

（倶利伽羅峠）

▲倶利伽羅峠の合戦　1183年5月。木曽義仲が牛の大軍をはなち、平氏軍を谷におとす。（➡105ページ）

一ノ谷の合戦　1184年2月。鵯越をかけおりた源義経軍の急襲で、平氏軍が敗北。平敦盛が熊谷直実にうたれる。（➡114ページ）

われら平氏は壇ノ浦でおしまい。

▶屋島の合戦　1185年2月。平氏軍が源義経軍に敗北、海を西へむかう。那須与一が扇の的を射おとす。（➡122ページ）


（屋島）

墨俣川の合戦　1181年3月。源行家の軍が平重衡に大敗する。

水島の合戦　1183年10月。平知盛のひきいる平氏軍が、源氏軍をやぶる。